

2014年5月27日から2017年3月31日までに岡山大学病院消化管外科の外来または病棟で、

「臨床研究：便中に存在するゲノム変異の検出による非侵襲的消化器腫瘍診断技術の開発」

2015年10月27日から2017年7月23日までに岡山大学病院呼吸器内科の病棟で、

「臨床研究：喀痰を用いた非侵襲的肺がんスクリーニング技術の開発と臨床応用」

に参加されました患者様及びご親族のみなさまへ。

岡山大学病院での「臨床研究：便中に存在するゲノム変異の検出による非侵襲的消化器腫瘍診断技術の開発」「臨床研究：喀痰を用いた非侵襲的肺がんスクリーニング技術の開発と臨床応用」は試験終了となりました。

しかしながら、本研究内容の継続を、今後、川崎医科大学臨床腫瘍学教室にて行い、参加者に供与いただきました、貴重な試料（便、喀痰）の解析を継続する予定です。

川崎医科大学に提供・供与予定の試料は匿名化をしており、川崎医科大学では個人を同定することはできません。従いまして、川崎医科大学での研究結果も個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 消化管外科

(岡山大学病院 低侵襲治療センター)

助教 重安邦俊

電話：086-235-7257